

1. 安心できる子育て支援について

来年 4 月から、国の子ども子育て新制度が施行され、子育てを取り巻く環境が大きく変わろうとしています。民間企業の参入を促進するという中身に加えて、岡山市では 120 近くある市立幼稚園・保育園を 30 の認定こども園に移行し、残りは民営化・統廃合という方針を打ち出しており、保育の公的責任が後退するという立場で、毎議会取り上げてきました。

(1) 認定こども園について

市内に唯一ある認定こども園は、私立の幼稚園型認定こども園です。3 歳以上の保育料は経費を合わせて一律 31000 円で、18 時まで預けてもお昼で帰っても自由。お弁当を持参しても有料給食を注文しても自由。基本は幼稚園ですから、保護者の就労状況は関係ありません。いわゆる面接によるお受験です。

しかし、これは私立の幼稚園型こども園だから設定が自由なのです。

今、公立幼稚園の保護者から、こども園について同じになるかのような期待があるので伺います。

- ア. 岡山市が目指す幼保連携型認定こども園で、親の就労状況に関わらず午後まで預けたり、夏休みや土曜日に預ける選択ができますか。
- イ. 11 月から来年度の申し込みが始まります。幼保連携型認定こども園で、入園選考の条件はこれまでと何がどのように変わりますか。
- ウ. 30 の候補園を選びましたが、先行している園を参考にどれだけの費用がかかると試算していますか。
- エ. なぜ 30 の認定こども園の候補に保育園が挙がっているのですか？幼稚園児を受け入れることで現在の園児が追い出されることにつながりませんか。
- オ. 園で過ごす時間は、幼稚園児で年間約 1000 時間に対し、保育園児は約 3000 時間を超えます。同じ学級で編成することで、様々なひずみを生みませんか。
- カ. 認定こども園の設置基準条例は、子ども子育て会議で議論されましたか。

(2) 公立幼稚園の 3 歳児保育、延長保育こそ保護者の願い

市立幼稚園の PTA が実施したアンケート結果を拝見しました。こども園や民営化・統廃合への不安とともに、3 歳児保育と延長保育の希望が非常に高いことがわかります（資料①）。現在 69 園のうち、3 歳児保育は 17 園、延長保育実施園はゼロです。

- ア. 空き教室はあります。教員補充することで、明日からでも実施できます。なぜしないのですか。「民業圧迫」というならば根拠も併せて具体的にお示してください。
- イ. 現在認可保育園に通う保護者の中でパートタイム就労者は何割いますか？幼稚園が 3 歳保育や延長保育を実施すれば、保育園から移動を希望するパートタイム保護者も多くいると推察します。

(3) 家庭的保育・小規模保育・居宅訪問型保育について

今議会で、認可基準の条例案が示されました。来年 4 月以降、保育園に入れない場合は、改定児童福祉法 24 条の 2 項で、家庭的保育や小規模保育を市があっせんすることになります。

ア. 岡山市は、どういう対象者に家庭的保育や小規模保育をあっせんするのですか。

イ. 保育者の資格について、小規模 A 型以外は岡山市として無資格者に保育をさせることを容認することになります。保育園での死亡事故は表のとおり無資格者の多い無認可保育園での発生が多いことがわかります。発生割合からすると 40 倍。一人一人の子どものいのちを保障するうえで、市は責任をとれるのですか。

ウ. 居宅訪問型保育はいわゆるベビーシッターです。先般富士見市で起きた悪質なベビーシッターの事件は記憶に新しいところです。保育経験者ですが無資格者だと報道されています。この度、資格要件とされる「家庭的保育者」に位置づけられる「保育士と同等以上の知識経験のある市長が認定する者」とは何ですか？小規模保育 B 型 C 型の「保育従事者」に位置づけられる「その他保育に従事する職員として研修を修了した者」とは具体的に何がどう違うのですか？

(4) 公立の役割について

ア. 30 の認定こども園の候補園に公立の役割を持たせるといわれますが具体的にはどういう役割で、地域の実情とどう関連がありますか。

イ. 100 近いその他の公立園には公立の役割が無いということですか。

(5) 児童館こそ地域子育て支援の拠点に

初めて児童館に赴任された方が、こういう施設こそ国がお金をかけなければならないところだと強調されました。乳児からお年寄りまで誰でも無料で利用でき、遊具や体育施設が整い福祉の専門家が常駐している。特に家庭や学校で行き場をなくした子ども達の大切な居場所となっていると聞きました。職員たちが家庭背景もふくめてとことん付き合える場になっています。

ア. これまで児童館が果たしてきた役割をどのように評価していますか。

イ. 子ども子育て支援 13 事業の中の「地域子育て支援事業」にこそ、児童館を位置づけるべきだと思いますがなぜ入っていないのですか？現行の地域子育て支援事業の体制を継続するそうですが、実施目的が完全に果たしていると評価されておられますか。

2. 岡山市がブラック企業になっていないか

市役所ではさまざまな雇用形態の方が働いています。

その働き方について私どものアンケートでも様々な声が寄せられています。

私が直接伺ったあるケースは、一般臨時職の方で1年経った4月に1か月の空白期間があり、5月2日から再び同じ職務につきました。ところが2年目には夏の一時金がなかったということです。しかし前年一年全く同じ条件で働き、少額でも一時金も出ていたのです。5月2日採用のため、6月1日時点で労働日数が基準に達していないからでしょう。一生懸命頑張っていたのに人をバカにしている、と感じて辞めたといわれていました。

一方で、保育園の現場では10年以上も臨時職員として、昇給もなく働いている職員がいます。毎年1か月の空白期間を設けられ、退職金に換算されません。年金も健康保険も一度切られ、毎年毎年、1カ月だけ国保と国民年金に切り替えなければなりません。

市役所内で、こんな働き方を強いられている人たちが多くいます。若い人もたくさんいます。辞めてもすぐ次の人でまた、臨時雇用が繰り返されることが常態化していませんか。これを働く人の使い捨てというのではないのでしょうか。

今や非正規職員の割合は全体の3割になっています。

- ア. 市長にお伺いします。そもそもこのような働き方が若い人たちの仕事観や生き方に及ぼす影響をどう考えますか。今後も増やすおつもりですか。
- イ. 臨時職員を月の初日を避けて、2日から採用しているのはなぜですか。
- ウ. 1か月の空白期間があっても2年目3年目と同じ業務に付くならば継続雇用です。社会保険や年金の保証をするべきではないですか。
- エ. 地方公務員法22条による臨時雇用は最大1年。繰り返しの雇用は避けるよう通知が出ています。適正に運用しているという答弁でしたが、改善する点は無いという見解でよいですか？

3. 市民病院跡地利用について

地元清輝学区では、前市長時代に市民病院を天瀬に残すと公約したのに移転となり、外来診療機能は残すと何度も議会答弁があり、ここでまた裏切られたと感じています。今後の協議について、地域の協議会などを立ち上げ、定期開催するべきだと思いますがいかがか。

4. 市民会館、市民文化ホールとシンフォニーホール

市民文教委員会視察で訪れた岐阜県可児市文化創造センターで、館長が「2000席の大ホールは完全に時代遅れであり採算も取れない」と何度も強調されていた事が印象的でした。

2001席を擁するシンフォニーホールと同等規模の大ホールが2つも必要だとはどうして

も思えません。シンフォニーホールの課題点を改築・改善することで市民会館の大ホールの役割を包含できるという可能性はありませんか。

5. 浸水被害対策について

7 月 20 日の集中豪雨で浸水した地域がいくつかあります。笹が瀬川東側の今、田中、平田、下中野などこの大きなエリアは急激な都市化に対し雨水対策が追いついていないのではないのでしょうか。雨水管整備の計画があるとうかがっていますが、急ぐべきではないのでしょうか。(いつまでに整備しますか)